



農事組合法人ながいき集落営農組合による遊休農地を活用した「ながいきそば」プロジェクト
 農事組合法人ながいき集落営農組合

DATA

事例名：遊休農地を活用した「ながいきそば」プロジェクト
 所在地：千葉県長生郡長生村本郷1038番地2
 連絡先：TEL 0475-32-2693
 FAX 0475-32-1959
 ホームページ：https://nagaike-soba.com/

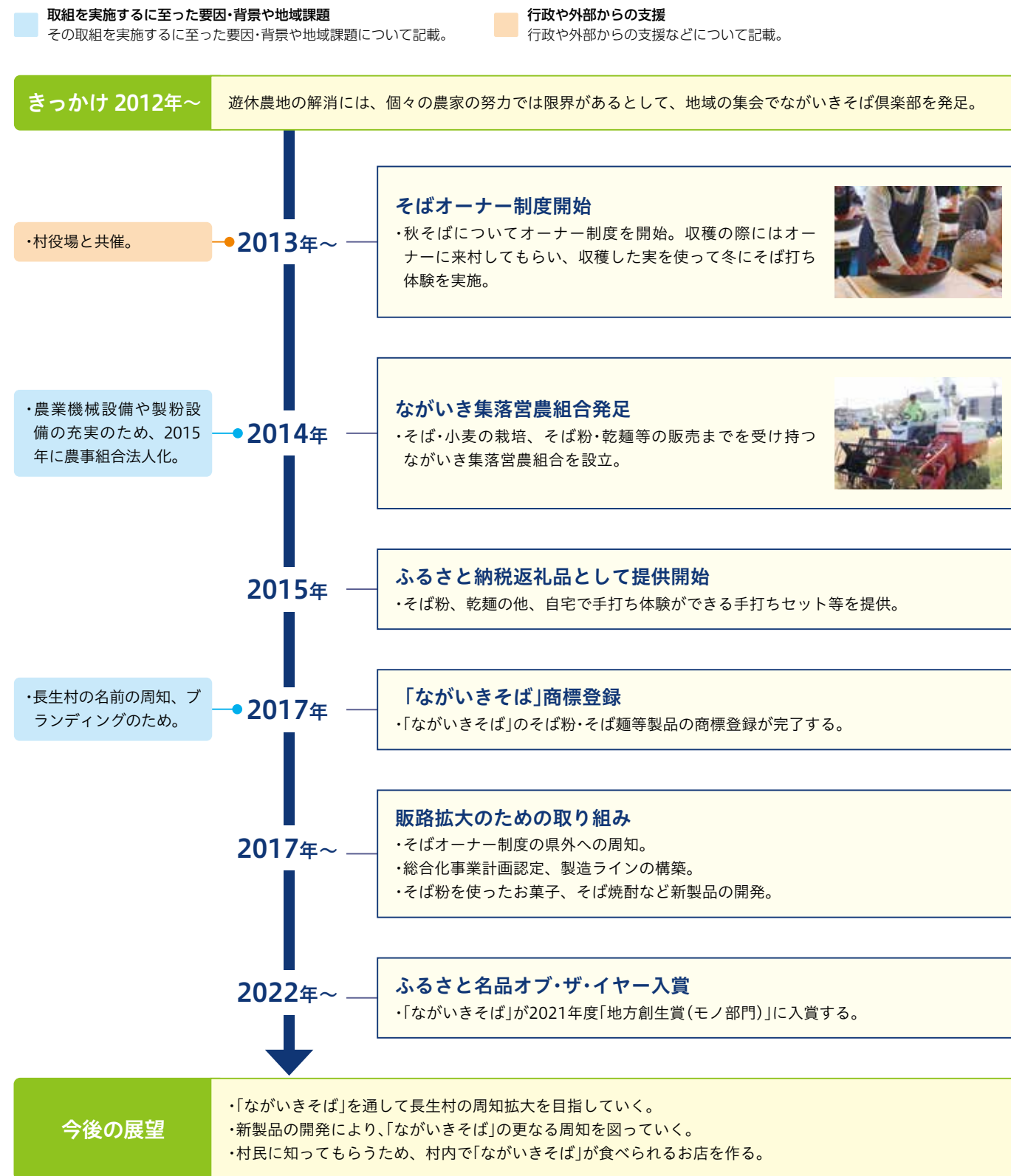
取組の概要

千葉県唯一の村、長生村では古くから稲作等農業が盛んな地域であったが、近年は少子高齢化による農業者の高齢化・担い手不足などから「遊休農地」が目立ち始め、村内全域で深刻な問題となっていた。そんな中、地元の有志が対策として始めたのが蕎麦づくり。平成25年に1.5ヘクタールから始まった蕎麦づくりは現在では70ヘクタールまで拡大しており、村の遊休農地の解消に大きく貢献。また、村の名前から「ながいきそば」と名づけられた蕎麦は、村の特産品としてブランディングにも貢献している。

評価された点

- 休耕地からの新たな食のブランディングを着実に形にし、村の特産品づくりにも貢献するなど、成果をあげている点を評価。
- 遊休農地を蕎麦づくりに逆転しただけではなく、1.5ヘクタールから70ヘクタールまで拡大している点を評価。
- 蕎麦の他にも、かりんとう、クッキー、焼酎などを開発し、60代以上の5人の会員だけでこれほど発展したことが素晴らしい。

取組のプロセス



受賞者のコメント

今回、我々のこれまでの取り組みについて、このように表彰いただけたこと、とても嬉しく思っております。海沿いの村で始めは収穫も大変だったそば栽培ですが、今では多くの仲間とともに日々精力的に活動しております。幸いなことに、ながいきそば商品についてはメディアで広く取り上げられ、多くの個人・企業様よりお求めいただいております。今後も全国に「ながいきそば」と長生村を広く知ってもらえるよう努力してまいります。